

2025年11月28日

各 位

会社名株式会社ワールド

代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝 (コード番号:3612、東証プライム)

取締役 副社長執行役員 中林 恵一

(TEL: 03-6887-1300)

株式会社阪急スタイルレーベルズからの一部の事業承継を目的とした 新会社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ

問合せ先

当社は、2025年11月28日開催の取締役会において、以下のとおり、阪急阪神ホールディングス株式会社のグループ (以下、「阪急阪神グループ」といいます。)に属する阪急電鉄株式会社の子会社である株式会社阪急スタイルレーベルズ (以下、「HSL社」といいます。)が運営するコスメセレクトショップ「カラーフィールド」事業及び家具・インテリア雑貨「ダブルデイ」事業 (以下、「対象事業」といいます。)を、会社分割(吸収分割)の方法により、阪急電鉄株式会社が設立する新会社(以下、「承継会社」といいます。)に承継させた上で、当社が承継会社の全株式を取得し(以下、「本件事業承継」といいます。)、完全子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 株式の取得の理由

当社グループは、中長期ビジョンとして、持続的成長と共にファッションの多様性の実現に貢献する「世界に唯一無二のファッション・エコシステム」の構築を目指しております。その実現に向けた最重要戦略の一つとして、アパレルを中核としながら、人々の暮らしに寄り添うライフスタイル領域の拡充を掲げております。今般の本件事業承継は、このエコシステムをアパレル領域からライフスタイル領域へと拡張・進化させるうえで、極めて重要な戦略的マイルストーンと位置付けております。

この度承継する「カラーフィールド」及び「ダブルデイ」は、関西圏、特に阪急電鉄沿線という優良立地において、長年にわたって独自のブランド価値と質の高いロイヤルカスタマー基盤を築き上げてきた、ライフスタイル領域における希少で良質な事業体と捉えております。対象事業が持つ(i)圧倒的なブランド価値と顧客基盤、(ii)卓越した立地優位性、(iii)事業を支える人材の知見は、当社グループがまさに強化を望んできた事業領域における、何物にも代えがたい資産であると認識しております。

本件事業承継は、当社のライフスタイルブランド事業の基盤を一層拡充するものであり、当社グループが有する経営ノウハウとリソースを投入して、対象事業の更なる成長を実現できると考えております。また、産業や業界の枠を超えた新しい価値創造として、エムシーファッション株式会社の承継に続き、この度、先進的な価値創造に邁進される阪急電鉄株式会社より歴史ある事業の未来を託されたことや、本件を契機とした阪急阪神グループとの未来に向けた共創・協業の機会を活かしてまいる所存です。

具体的には、次のとおり、シナジー創出を通じた対象事業の持続的成長や阪急阪神グループとの共創による 新たな価値創造を通じて、当社グループ全体の企業価値向上の実現を目指してまいります。

① ライフスタイル領域における事業基盤の更なる拡充

当社が重点領域として事業基盤拡充を目指すコスメ、家具・インテリア雑貨領域において、対象事業が加わることでマーケットにおけるプレゼンスが高まり、ライフスタイルブランド全体での収益基盤が一段と強化されます。特に、阪急沿線という高感度な顧客層との強固な接点を獲得することで、既存事業とのクロスセルや顧客基盤の相互活用による相乗効果を創出できる機会が格段に増える見通しです。

② 当社プラットフォーム活用による収益性・成長性の向上

対象事業は、当社グループが持つオリジナル商品企画・開発のノウハウや、商品の調達から販売に至るサプライチェーン等のプラットフォームを活用することで、収益構造の抜本改革と早期の黒字化を実現し、再現性のある持続的な成長軌道に乗ると合理的に見込まれます。また、当社公式EC「ワールドオンラインストア(WOS)」への出店などを通じて、デジタル領域での大きな成長も目指してまいります。

③ 阪急阪神グループとの共創・協業関係の構築

本件は、都市交通事業・不動産事業・エンタテインメント事業に経営資源を集中して大胆に成長を追求する 阪急阪神グループと「世界に唯一無二のファッション・エコシステム」を持つ当社グループとの共創・協業関 係の礎になるものです。産業や業界の枠を超えた両社の提携は、新たな価値共創のモデルケースになる可能性 や、関西圏はもちろん、日本経済の活性化に貢献する潜在力を秘めるものと考えております。

2. 異動する子会社(承継会社)の概要

(1)	名称	株式会社ワールドスタイルレーベルズ(仮称)		
(2)	所 在 地	大阪市北区芝田 1-16-1 阪急電鉄本社ビル		
(3)	少ませの犯跡 でない	取締役会長 西川 信一		
(3)	代表者の役職・氏名(※)	代表取締役社長 小林 哲		
(4)	事 業 内 容	化粧品・服飾雑貨販売、家具・インテリア雑貨・生活雑貨販売		
(5)	資 本 金	5 百万円		
(6)	設 立 年 月 日	2025年12月1日 (予定)		
(7)	大株主及び持株比率	(会社分割で親会社となる)阪急電鉄株式会社 100%		
		資本関係:該当事項はありません。		
(9)	上 場 会 社 と	人的関係:該当事項はありません。		
(8)	当該会社の関係	取引関係:該当事項はありません。		
		関連当事者への該当状況:該当事項はありません。		
(0)	当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態:			
(9)	新たに設立された会社であるため、該当事項はありません。			

[※]本件事業承継後の代表者の役職・氏名となります。

3. 株式又は事業の取得の相手先の概要

(1)	名称	阪急電鉄株式会社
(2)	所 在 地	大阪市北区芝田 1-16-1 阪急電鉄本社ビル
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 嶋田 泰夫
(4)	事 業 内 容	都市交通事業、不動産事業、エンタテインメント事業 等
(5)	資 本 金	100 百万円 (2025 年 3 月 31 日時点)
(6)	創 立 年 月 日	1907年10月19日
(7)	純 資 産	208, 341 百万円 (2025 年 3 月 31 日時点)
(8)	総 資 産	1,214,991 百万円 (2025 年 3 月 31 日時点)
(9)	大株主及び持株比率	阪急阪神ホールディングス株式会社 100%
(9)	2025 年 3 月 31 日時点	

(1)	名	称	株式会社阪急スタイルレ	ーベルズ	
(2)	所 在	地	大阪市北区芝田 1-16-1 🕅	反急電鉄本社ビル	
(3)	代表者の役職・	氏名	代表取締役 小林 啓輔		
(4)	事 業 内	容	化粧品·服飾雑貨販売、	家具・インテリア雑貨・	生活雑貨販売
(5)	資 本	金	10 百万円(2025 年 3 月 3	31 日時点)	
(6)	設 立 年 月	目	1961年2月25日		
(7)	大株主及び持株	比率	阪急電鉄株式会社 99%		
			資本関係:該当事項はあ	りません。	
(8)	上 場 会 社	と	人的関係:該当事項はあ	りません。	
(8)	当該会社の	関 係	取引関係:該当事項はあ	りません。	
			関連当事者への該当状況	: 該当事項はありません	0
(9)	(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決	算期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
純	資	産	704 百万円	592 百万円	450 百万円
総	資	産	2,419 百万円	2,329 百万円	2,129 百万円
1 7	株当たり純賞	産	250, 456 円	210,732 円	160, 288 円
売	上	高	4,604 百万円	4,832 百万円	4,516 百万円
営	業利	益	△150 百万円	△58 百万円	△111 百万円
経	常利	益	△152 百万円	△61 百万円	△116 百万円
当	期 純 利	益	△195 百万円	△111 百万円	△141 百万円
1 杉	株当たり当期純:	利益	△69, 694 円	△39, 723 円	△50, 443 円

※阪急電鉄株式会社が株式譲渡契約の売主でありますが、HSL 社が吸収分割の実施主体であることから、双方を記載しています。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

		0株
(1)	異動前の所有株式数	(議決権の数:0個)
		(議決権所有割合: 0.0%)
(2)	取 得 株 式 数	承継会社の全株式
(3)	取 得 価 額	承継会社の普通株式 175 百万円 (予定)
(4)	異動後の所有株式数	承継会社の全株式 (議決権の数:未定) (議決権所有割合:100%)

5. 日 程

(1)	取締役会決議日	2025年11月28日
(2)	契約締結 日	2025年12月1日
(3)	株式譲渡実行日	2026年3月1日 (予定)

6. 今後の見通し

本件が当社の2026年2月期連結業績に与える影響は軽微です。2027年2月期以降の連結業績に与える影響につきましては現在精査中であり、今後、業績予想の修正の必要性及び公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上